

東日本大震災復興関連事業チェックシート
(平成23年度第3次補正予算)

(厚生労働省)

事業名	農林業等就職促進支援事業		担当部局庁	職業安定局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	雇用開発課農山村雇用対策室	農山村雇用対策室長 松竹 泰男			
会計区分	労働保険特別会計雇用勘定		施策名	Ⅱ-1-2 地域、中小企業、産業の特性に応じ、雇用の創出や失業の防止を図る				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	雇用保険法第62条第1項第5号		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	農林漁業への就業を希望する者に対して、農林漁業の求人情報や各種関連情報の提供、職業相談・紹介等を農林水産省等との連携の下に行うことにより、農林漁業への就業を促進することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	各都道府県1カ所の公共職業安定所に、農林漁業の求人情報や各種関連情報の提供、職業相談・紹介、新規就農相談センター等へのあっせん等の支援を行う「農林漁業就職支援コーナー」を設置し、農林漁業への多様な就業希望に応えることとする。また、農林漁業合同企業面接会を開催し、農林漁業求職者の就業機会の確保を図る。 平成23年度第3次補正予算では、被災地(青森、岩手、宮城、福島、茨城)及び被災者多数受入地(山形、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、新潟)の就職支援ナビゲーターを拡充、「農林漁業就職支援コーナー」の体制を強化する。また、被災者多数受入地での農林漁業合同企業面接会を追加開催する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
23年度予算額 (単位:百万円)	当初	第1次補正	第2次補正	第3次補正	計			
	312	-	-	27	339			
成果目標 (アウトカム)	成果指標	単位	目標値		活動指標 (アウトプット) ※上段()書きは予算措置の累積に係る見込み	活動指標	単位	23年度活動見込
			23年度	()年度				
農林漁業就職支援コーナー(就農等支援コーナー)の利用者数に占める紹介就職件数と自営就農支援機関へのあっせん件数	%	(35) 35						
単位当たりコスト	(23年度当初 26,004円/利用者1人あたり) 25,425円/利用者1人あたり			算出根拠	事業費:26,645千円 農林漁業就職支援コーナー利用者数:1,048人			
事業所管部局による点検								
項目			内容					
「復興への提言」及び「東日本大震災からの復興の基本方針」で示された諸原則や施策の考え方との整合性がとられているか。			同基本方針において「被災した方々の新たな就職に向けた支援」を進めるとされており、農林漁業への就職を促進する本事業は、これとの整合性がとられている。					
被災地のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。			被災地では多くの農林漁業者が離職を余儀なくされており、被災地以外の他地域への避難者も多数発生しているところである。 被災した農林漁業者の多くは農林漁業の継続を希望しており、また、離職者の中には新たに農林漁業への就職を希望する者もあり、ハローワークに設置されている「農林漁業就職支援コーナー」の相談件数も増加しているところであり、被災地等のニーズがあり優先度が高い事業である。					
効果的な事業であるか(より高い効果をあげる手法の選択、類似事業等との役割分担、客観的な将来見通しなど)。			国が広域職業紹介を含めた農林漁業への就職促進を図る目的で、ハローワークに設置されている「農林漁業就職支援コーナー」の機能強化を行うものであり、効果的な事業である。					
費用対効果や効率性の検証が行われたか。			国が広域職業紹介を含めた農林漁業への就職促進を図る目的で、ハローワークに設置されている「農林漁業就職支援コーナー」の機能強化を行うものであり、費用対効果や効率性は高い事業である。					
国、自治体、事業実施者、民間等の役割分担などのあり方は明確か。			国が広域職業紹介を含めた農林漁業への就職促進を図る目的で、ハローワークに設置されている「農林漁業就職支援コーナー」の機能強化を行うものであり、役割分担は明確である。					
他の事業と整合的で、計画的に実施されるものとなっているか。			国が広域職業紹介を含めた農林漁業への就職促進を図る目的で、「農林漁業就職支援コーナー」の機能強化を行うものであり、計画的な事業実施が図られる。					
事業の迅速な着手・執行が可能であるか。事業の執行などの透明性が確保され、進行管理が適切に行われるようになっているか。			ハローワークに設置されている「農林漁業就職支援コーナー」の機能強化を行うものであり、迅速かつ適切な事業執行がなされる。					

注1. 「活動指標(アウトプット)」欄の「活動見込」については、23年度第 次補正予算に係る分について記載すること。なお、既に成立している23年度予算(第2次補正予算を含む。以下同じ)若しくは23年度予備費で措置している事業の追加措置の場合については、上段カッコ付で累積の見込みを記入すること。

注2. 「単位当たりコスト」欄については、23年度第 次補正予算に係る分について記載すること。なお、既に成立している23年度予算若しくは23年度予備費で措置している事業の追加措置の場合については、上段カッコ付で「(23年度1次補正 × ×円/)」などと記入すること。

注3. 「内容」欄には、すべての点検項目毎に点検の結果及び方法、これらの客観的な根拠について具体的に記入すること。